

# JAniCA TIMES

Vol. 1  
1  
2010  
December

JAniCA TIMESは、JAniCA事務局の協力のもと、会員有志によって制作されています

## 代表理事 ヤマサキオサムよりJAniCA会員の皆さまへ

2010年も残すところ、あとわずかとなりました。本年、JAniCAは大きな変革・飛躍の時を迎え、この分野では我が国初の大規模公的支援事業となる『若手アニメーター育成プロジェクト』を受託することができました。

芦田豊雄・前代表理事を中心に、2007年に設立されたJAniCAは、当初より「アニメーター、演出家の労働環境の改善」「アニメ業界全体の収益性の向上」を目指し、3年間という運営期間を通して、下記（同面JAniCAの歩みを参照）にまとめられているような実績を残すことができました。これも会員の皆さまのおかげだと深謝しております。

### 新たな規範作りへ

さて、21世紀に入り、急速なデジタル化やインターネットの普及に伴い、皆さまもご承知の通り、過去のシステムのままでは、商業アニメーションの制作が成立し辛くなってきています。そのような社会情勢の中で、我々アニメーション制作者は、どのようにしていま現在のアニメーション業界に関

わっていくか。時代が大きく変化している今こそ「新人への正当な対価の支払い」「中堅やベテランへの仕事の安定した供給方法の検証」などといった、新たな規範作りの好機ではないでしょうか。

また、他業種では人材育成に多大な資金を準備し、それを投資と考へ予算と時間を割いています。しかし、アニメーション業界では、残念なことに人材育成への取り組みが少ない。背景には、全体収益率の低下によって始まった、企業競争の激化や企業間格差の広がり、メインスタッフの引き抜きの常習化などがあると考えられます。人材の育成は、本来長いスパンで考えるべきものです。従来の、人材を消費していく構造に一石を投じる意味でも、JAniCAが文化庁より『若手アニメーター育成プロジェクト』を受託したことは、未来への重要な一歩を踏み出したと言えるでしょう。

この不況の只中で、多くの他業種が生き残りを掛け、新たなルール作りと時代に即したビジネススタイルの構築を模索しています。

JAniCAとしても今後どういっ



### ヤマサキオサム

アニメ監督／脚本家／プロデューサー  
『戦国奇譚 妖刀伝』の原案、監督としてデビュー  
主な監督作品は『戦国奇譚 妖刀伝』『地球へ…』『イタズラなKiss』『薄桜鬼』

た戦略で、会員の皆さまの未来を支援していくのか。より一層考えていくべきときだと感じています。まず目を向けるべきは、アニメーション業界内部の協調と結束。個人で抱え込まず、意見交換し、発信していきましょう。

### JAniCAの目指すところ

JAniCAは、アニメーション業界のいち組織にすぎません。しかし、社団法人・日本動画協会など他の関連団体と協力して、相互利益の獲得を目指し、10年先、20年先の新たなビジネスモデルを模索していけば、必ずや新たな規範を築けると信じております。

「ゆくべき道を決めるのは疾風ではなく、帆のかけ方である生涯と言う海路を辿るときゴールを決めるのは風か嵐かではなく、魂の構えだ」  
＜ウィルコックス “運命の風” より抜粋＞  
時代の風に流されるのではなく、自ら帆を張り未来へ舵を取る。JAniCAはそのようなアニメーション制作者を、力強く支援する団体でありたいと思っています。

JAniCA代表理事  
ヤマサキオサム

困難の道を切り拓いて下さった諸先輩に 敬意と感謝を込めて…

## これまでのJAniCAの歩み

JAniCA(日本アニメーター・演出協会)がこれまでどういった活動をしてきたか、アニメーション業界の中でも正しく理解している人は少ない。そこで、実質的に活動開始した2006年から現在にいたるまでのJAniCAの大きな動きを、簡単な年表にした。シンポジウムの開催や、

ソフトウェアの公開、そして3面にて紹介するが、本年の大きな取り組みであった若手アニメーター育成プロジェクトなど、その活動は多岐にわたっている。このほか、若手向けのセミナーや作画の技術を教える教室なども、継続して開催されている。

年 / 月	具体的な活動について	年 / 月	具体的な活動について
2006年11月	芦田豊雄氏により、任意団体として活動開始	2009年5月	『JAniCAシンポジウム2009』開催 前年末に実施した『アニメーター実態調査2008』の結果を公表
2007年9月	芦田豊雄氏が代表に、高橋信幸氏が応援団長に承認される	2009年7月	1/24秒計 ストップウォッチ・ソフトウェアを発表
2007年10月	JAniCA設立。記者会見が執り行われる	2009年10月	『JAM2009 -ジャパン・アニメコラボ・マーケット-』にてシンポジウム開催
2008年1月	JAniCA主催の『プロのためのサルでも描ける・パース君講座』開催 以降、さまざまな講座が開催されている	2009年11月	無限責任中間法人から一般社団法人へ名称変更
2008年5月	『無限責任中間法人日本アニメーター・演出協会』として法人化	2009年12月	『アニメーター労働白書2009』発行
2008年10月	『アニメーター実態調査2008』調査開始	2010年3月	東京国際アニメフェア(TAF2010)に出展
2008年11月	運営委員が決定。副代表に宇田川一彦氏、神村幸子氏	2010年4月	文化庁『平成22年度若手アニメーター等人材育成事業』が採択
2008年9月	『文芸美術国民健康保険』加入申し込み手続き開始	2010年6月	会員総会開催 代表理事、および一部理事の辞任に伴い、新理事が選出 文化庁採択事業に伴い、作品制作団体4社を選出
2009年2月	『JAniCA加盟の国民健康保険組合の相談会』開催 以降、技術だけではなく生活に必要な知識の講座も開催されている		
2009年5月	『東京芸能人国民健康保険』加入申し込み手続き開始		

## JAniCA監事 桶田大介氏インタビュー

桶田大介氏は、JAniCAで監事という重要な役職を任されている。だが彼がこれまでJAniCAにおいてどのような役割を果たしてきたのか、その詳細を知らない人は多い。このインタビューでは、JAniCAとの関わり方から、今後のJAniCAについてどう考えているのか、語っていただいた。桶田大介の理想とするJAniCAとは……。

## 最初はおせっかいから

——まずは桶田さんがJAniCAの運営に関わるようになった経緯を教えてください。

**桶田** わたしが運営委員会に参加させていただくようになったのは2008年の初めごろです。JAniCAの設立が2007年10月なので、その半年後くらいからですね。もともとはただのおせっかいだったんです。1アニメファンの立場から「へ～こんな団体が出来たんだ」と設立の様子をホームページや新聞報道で見っていました。ただその内容が、おもに法律の絡む人材派遣などで問題があったんです。専門家の方がいないせいか、かなりきわどいことを行おうとしていたんです。そこで「その方法はきちんと手続きを踏まないとまずいですよ」といったメールをお送りしたんです。以降当時の理事の方から、さまざまな相談を頂くようになりました。相談事には公官庁との折衝といった、もはやおせっかいでは済まない内容もありました。そのまま運営委員として関わらせていただけるようになり、このたび監事に就任しました。

——監事とはおもにどういった役職なのでしょう。

**桶田** JAniCAの業務が滞りなく行われているかを見守り、定款や法律に違反する行為があれば未然に防ぐのが、おもなお仕事です。基本的には、理事の皆さんをサポートするお仕事ですね。

## 運営に対するアプローチ

——JAniCAの運営に関わりだしたところのお話を聞かせてください。そのころのJAniCAはどういった状況だったのでしょうか。

**桶田** JAniCAに集まった皆さんは「アニメーター・演出家の経済環境、労働環境を改善」し、また「若いアニメーター・演出世代に対し、長年つちかってきた技術を伝えたい」という想いはあったものの、実際にどのように実現していくのか、いわゆる「具体策」がなかったんです。そのため、業界内では先発の社団法人・日本動画協会さんにご挨拶に伺おうにも、受け付けてすらもらえないという状況で

したね。

——そこからどう具体策を提示したのでしょうか。

**桶田** まず取り組んだのは「労働環境の改善」についてです。改善するには「労働組合的アプローチ」といような制作会社や各団体、政府と協力する「協調路線アプローチ」のふたつがあると話ししました。そのうえで「労働組合的アプローチ」での目標達成は極めて難しいと付け加えました。

——「労働組合的アプローチ」が困難というのは？

**桶田** そもそも「労働組合的アプローチ」は、文字通りJAniCAを労働組合化し、制作会社などにストライキや団体交渉を行い、組合員の賃金向上などを訴える方法です。しかしこの方法には3つのハードルがあります。ひとつめは組織率の問題です。当時JAniCAの会員数は約500人。日本全国に約3,000～4,000人といわれるアニメーターのうち組織率は約12.5%から16%程度でした。アニメーターのほとんどがフリーランスという現状では、組織率が少なくとも過半数を超える程度でなければ交渉力は見込めません。ふたつめはスト指令に対する対応率です。団体交渉権の行使としてのストライキを行う場合、ストライキをした分、収入は減少します。またストライキした相手方は、これまでお世話になってきた先輩や制作さんという場合が多いでしょうし……。アニメーター・演出家に鉄の結束を求めるのには無理があります。そして、このふたつを越えたさきにある3つ目のハードルが、海外への制作委託です。仮にストライキが成功し、短期的に作画工程の賃金が向上したとします。しかし、そうなれば制作会社は生き残りをかけて、現在の動画、仕上げ工程だけでなく、原画工程以上についても海外への委託を進めることとなり、国内におけるアニメ制作はゆっくりと衰退していくおそれがあります。これでは本末転倒です。だから労働組合的アプローチは難しかった。

——協調路線でのアプローチしかなかったわけですね。具体的にはどういったものなのでしょう。

**桶田** まずは明確なビジョンを作



## 桶田大介

弁護士  
大阪弁護士会所属  
北浜法律事務所勤務  
2008年6月JAniCA監査理事に就任

りました。実のともなった活動を続け、JAniCAの存在感を示して、官公庁との関係を強くし、組織として確固たるものにする。そして日本動画協会との関係も改善し、マスコミとも連携をとることで、JAniCAが業界の内外に対して交渉力を持つ状態にする、という形ですね。

2008年実施した『アニメーター実態調査2008』は、協調路線アプローチの第1弾とも言うべき活動でした。行政などの援助を一切なしで実現した調査としては歴史的な偉業でしょう。調査結果は2009年5月の東京大学でのシンポジウムで発表されました。そのシンポジウムは、マスコミでも報道されまして。以降、知的財産戦略本部、経産省、文化庁などの官公庁がまともに取り合ってくれるようになったんです。日本動画協会とも経産省からの事業を再受託することで、共同して事業ができるまでになりました。挨拶すら断られていた1年まえと比べれば、まさに隔世の感がありましたね。

## JAniCAの今後について

——若手へ技術を伝えたい、という点については。

**桶田** 今年文化庁より受託した『若手アニメーター育成プロジェクト』が具体的なアプローチです。トップクリエイターの方々が、自分たちのつちかった技術を若手に伝える場になりました。短い募集期間であったにも関わらず、幸い17社という予想以上の応募を得ることができ、そこから選定された4社についても誠実に事業を遂行していただいています。このまま事業を完了させ、来年度も同事

業を継続できれば、理想的ですね。

ただ文化庁事業は、設立からJAniCAが地道に活動してきたからこそ転がり込んできた、棚からぼた餅のような存在なんです。だからこそ、こういった機会を活かし、活動に真摯に取り組むべきなんです。JAniCAの中立性や公平性をアピールできますし、事業の実行力や学者・マスコミや行政機関との関係を強化できますからね。そうやって、わたしたちの目標である「アニメーション業界人の地位向上と技術継承」に一步一步近づいていくことが重要です。——では今後JAniCAはどう活動していくのでしょうか。

**桶田** まずはJAniCA設立当初より継続してきたパース講座、絵コンテ講座といった、地に足を付けた活動をこなしていき、若手育成と技術向上の啓蒙を続ける。その脇で今回の『若手アニメーター育成プロジェクト』のような公共事業などに取り組んでいき、育成と同時に、JAniCAという組織の存在を広く認知してもらおう、というのが基本方針ですね。

——最後に、JAniCAの会員のみならず、みなさまへメッセージを。

**桶田** わたしたちは、ヤマサキ代表理事が掲げている「時代の風を帆に受けて」という言葉のとおり活動していきます。当面の課題として、文化庁より委託された『若手アニメーター育成プロジェクト』をきちんと実行し、JAniCAが目的を果たすのに必要な情報と交渉力を身につける。そして、組織として成長しつつ、アニメーターと演出家の視線を大事にしながら、会員の皆さんがいる商業アニメーションの制作現場を元気にしていきたいと思っています。

iPod touch iPhone 対応アプリケーション



JAniCA Watch

開発：Scivone, LLC

現役のアニメーション演出家によって特注された、アニメーター専用アナログストップウォッチ。  
1周6秒、1秒を24コマ、30コマで計算できるので、すぐにタイムシートや絵コンテに書き込めます。

詳細、ご購入は以下のアドレスにて。  
<http://itunes.apple.com/jp/app/id388187488?mt=8>

# 若手アニメーター育成プロジェクト

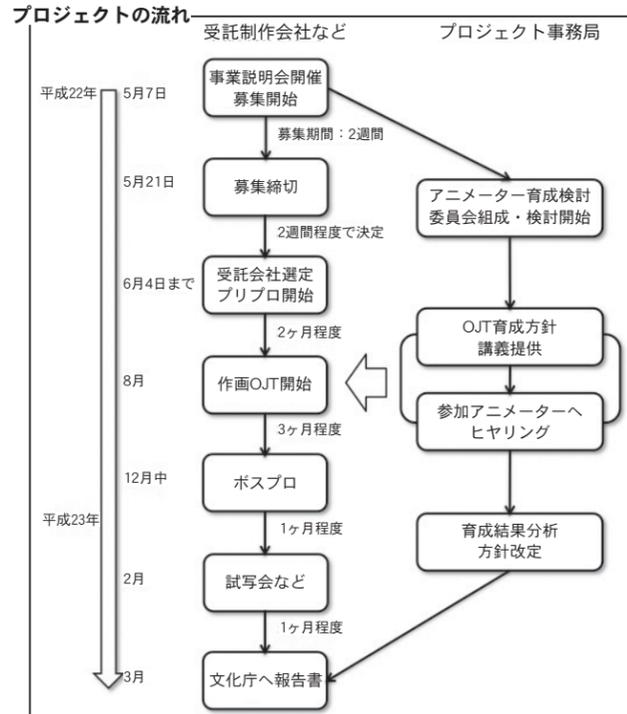
公式 blog / <http://pp1-e07a.blogspot.com/>

## 若手アニメーター育成の現場作り

新人にもっとアニメを作る現場を経験させよう——『若手アニメーター育成プロジェクト』は、若手アニメーターを積極的に起用し、ひとつの作品を作り上げようというプロジェクトだ。この試みは、JAniCAが文化庁より委託された『平成22年度若手アニメーター等人材育成事業』の一貫であり、公募により制作会社4社が参加することになった。制作するにあたって、会社ごとの技術セミナーだけでなく、4社合同の全体講義なども開催されており、普段教えてもらえない他の制作会社のクリエイターの声も聞くことができる。

## プロジェクトにおけるJAniCAの立ち位置

今回のプロジェクトにおいてJAniCAの役割は文化庁の代理役である。事業を引き受ける制作会社をコンペディションで選び、制作を管理する。そのうえでプロジェクトにおいて、若手育成の取り組みがどうなされたかを、データとして蓄積していき、文化庁側に提出する。こうやって育成のノウハウを「形にして」残していくことが主要な目的となる。若手育成のようなプロジェクトは、何年も継続し、試行錯誤を繰り返していくことが重要。来年度以降も本プロジェクトが動くとの話もあり、今後とも続けていってほしい取り組みである。



実際に仕事(アニメ制作)をすることで、新人を育成するOJT(On the Job Training)を行うことこそ、このプロジェクト最大のキモである。普段のように仕事に追われるだけではなく、トップクリエイターたちに教えてもらいながら、実作業をこなすということには、大きな意味がある。

## 若手アニメーター育成プロジェクト・制作作品ラインナップ

### 『キズナー撃』 株式会社アセンション



#### 作品紹介

轟キズナは、世界格闘技大会で無敵をほこっていたチャンピオンにみごと勝利する。だが彼女は12歳の中学生。大会のルール違反となり、優勝は取り消し、しかもすでに使い切ってしまった賞金1億円も返さなくてはならないことに。「キズナを倒せば1億円！」なんてニュースも流れ、世界各地の格闘家が、打倒キズナを目指し、挑戦状をたたき付けてくる！  
飛んだりねたりと、激しいアクションが盛り込まれた、どたばたギャグアニメ。

#### メインスタッフ

- 監督/本郷みつる
- 作画監督・キャラクターデザイン/末吉裕一郎
- 作画監督/植村 淳

### 『おぢいさんのランプ』 株式会社テレコム・アニメーションフィルム



#### 作品紹介

電灯がまだ日本に普及していない時代。巳之助少年は、まっくらな自分の村にランプを持ち込み、商売を始める。夜でも部屋の中を照らし続けるランプは、すぐに評判になり、巳之助もランプ屋で身を立てられるようになる。だがある日、村に電気という新しい技術が持ち込まれたことで、彼の生活は一変する……。  
「ごん狐」で有名な児童文学作家、新見南吉原作の童話をアニメ化。文明の移り変わりの中、懸命に生きる人の強さを教えてくれる作品。

#### メインスタッフ

- 監督/滝口禎一
- キャラクターデザイン/作画監督補佐/高須美野子
- 作画監督/友永和秀

### 『万能野菜ニンニンマン』 株式会社 P.A.WORKS



#### 作品紹介

まりちゃんとはある町に住む普通の小学2年生。パパ、ママと暮らす彼女にはふたつの悩みがあった。ひとつは近所の『キモダ橋』が怖くて渡れないこと。もうひとつは、ニンジン・ピーマン・牛乳が大嫌い、食べるとなんと気絶してしまうこと。ある日その嫌いなものを給食で食べなくてはならなくなり、まりちゃんは気を失ってしまう。そして、目を覚ました彼女の前に居たのはニンジンのおばけだった!?  
まりちゃんとおばけたちとのフシギな日常物語。

#### メインスタッフ

- 監督・キャラクターデザイン/吉原正行
- 作画監督/川面恒介
- 作画監督補佐/倉川英揚

### 『たんすわらし』 株式会社 Production I.G.



#### 作品紹介

鉄骨階段剥き出しの2階建て木造アパートで、ひとり暮らしをしているOLのえる。彼女のもとに実家から送られてきた「おばあちゃんのたんす」から、ある日見知らぬ子供が現れた！  
非現実的なできごとに、呆然とするのえる。だがそんな彼女にはお構いなしで、日に日に子供の数は増えていく。実は彼らはたんすをに宿っている「たんすわらし」だったのだ。  
事態についていけないのえると、個性豊かなたんすわらしたちとのドタバタ日常ドラマ。

#### メインスタッフ

- 監督/キャラクター設定/黄瀬和哉
- キャラクター原案/平田 亮
- 作画監督/海谷敏久
- 作画監督補佐/片桐貴悠

## 制作作品の一般公開が決定！

今回の『若手アニメーター育成プロジェクト』の成果を、広く一般に見てもらおうということで、株式会社ティ・ジョイ(以下ティ・ジョイ)の運営する系列劇場計8ヶ所において『一般お披露目試写会』を実施することが決定した。ティ・ジョイ側もこのプロジェクトに賛同しており「制作した作品が世に出ることで、参加した若手のアニメーターに、より大きな達成感を得てほしい」とのこと。また劇場での公開終了直後には、テレビ放映も決定している。こうやって実際に作品が紹介されることで、本プロジェクトが業界に認知され、今後の事業継続に繋がってほしいものである。

#### 一般お披露目試写会

- 上映期間:平成23年3月5日(土)~11日(金)
- 鑑賞料金:大人1000円、大学、高校生・専門学校生800円、中学生以下500円
- 上映劇場:新宿バルト9、横浜ブルク13、T・ジョイ大泉、広島バルト11、T・ジョイ京都、T・ジョイ新潟、T・ジョイ博多、梅田ブルク7

#### テレビ放映

- MBS系列。劇場上映終了後、順次放送開始

# 臨時総会開催が決定

JAniCAがこのたび臨時総会の開催を決定した。その総会のおもなテーマはふたつ、ひとつめは、来年6月で任期を終える理事6名の選出。来年度以降も若手育成プロジェクトが動く予定のため、まえもって選出する必要があるからだ。そしてふたつめは、今年6月に前代表理事3名が辞任した問題の詳細説明だ。現代表であるヤマサキ氏は本紙に対し「前代表理事らのあいだで不信感が強まり、JAniCAに無用の問題を持ち込んでしまったため」と話し、3名の辞任はその責任を取った形だったとしている。またJAniCAは今回の臨時総会で事態の経緯を正式に発表、公開するとのこと。この問題について疑問を感じている会員の方は、会場に足を運んでみてはどうだろうか。

# 編集後記 今回の発行について

そもそもは今年の秋、若手の会員である本紙スタッフが、ヤマサキ代表理事に、JAniCAへの疑問点を問い合わせたところから始まった。6月の代表理事の辞任、突然の文化庁からの事業受託、そしてそもそもどういった活動をしているのか。いまいち判然としなかったからだ。ヤマサキ氏と実際に会い、そこで説明された内容は、我々の疑問をすべて払拭するものであり、またいまのアニメーション業界が内包している問題点を改善すべく模索し、進み続けているJAniCAの足取りが理解できるものであった。しかし。現状のJAniCAは、公開すべき有益な情報を、アニメーション業界全体に発信しきれてないのが実状で、無駄に反感を買ってしまっている。だからこそ、我々は本紙制作をヤマサキ氏に持ちかけた。「JAniCAの情報開示と、この業界の可能性を少しでも広げる手助けになるならば」それが本紙スタッフ全員の総意である。依然としてJAniCAがつかまとう黒い噂は絶えない。現体制を引きずり下ろそうという動きもある。この新聞が、JAniCAを判断する1材料になればと思う次第である。

スタッフ

執筆 堀江拓  
石瀬裕一  
別府洋一  
協力 日本アニメーター・演出協会



JAniCA TIMESは、JAniCA協力のもと  
会員有志が作成した新聞です。

# JAniCA JAniCAからのお知らせ

## ●臨時総会のお知らせ

2011年2月27日、JAniCA臨時総会が下記のごとく招集されることをご通知いたします。なお、総会は出席数が、会員数の3分の1(2010年12月14日時点で235名)を満たないと総会の開催はできません。会員皆様のご出席をお願い致します。

- 日時：2月27日(日) 14:30~17:00 (受付開始14:00)  
 場所：西東京市民会館・公会堂  
 西東京市田無四丁目15番11号 (TEL: 042-463-5385)  
 議事：1・芦田元代表理事、宇田川元理事および神村元理事辞任の経緯説明  
 2・官公庁事業の説明  
 3・健康保険について  
 4・平成22年度会計報告(暫定)  
 5. 理事6名の改選。  
 参加資格：正会員、無料正会員、業界会員及び準会員  
 (なお入場の際に会員番号を確認いたします。  
 わからない場合はJAniCA事務局へご連絡ください)

## ●会員申込書(下記)について

### (1)申込

FAX、郵送にて申込を受付いたします。お申し込みいただく前に事務局へ相談も可能です。手書きで申込いただいた場合に、メールアドレスの判別ができないケースが発生しており、記載内容について事務局より確認のために電話を差し上げることがあります。なお、公式サイト (<http://www.janica.jp/>) でも登録できます。

### (2)書類発送

事務局より速達メール便にて発送いたしますので、申込日から数日にお手元に届きます。文芸美術国民健康保険および東京芸能人国民保険へ加入希望の方には、国保の申込書類も同封してあります。

### (3)記入と返送

お手元に届きました書類に必要事項を正確に記入し、事務局までご返送ください。印鑑相違、印影不良、金融機関情報の記入ミスなどが多発しておりますので、正確に記入・押印をお願いします。国保加入時には添付書類として「確定申告書B(控え)コピー」と「世帯全員が記載された住民票」が必要となります。毎月10日までにご返送いただければ、概ね翌月初に保険証がお手元に届きます。

### (4)口座引落 ※有料会員の場合

正会員の会費は月額2,000円です。支払いは毎月27日頃に口座振替(自動引き落とし)となります。口座からの引き落としは、翌月あるいは翌々月から開始いたします。書類返送時のタイミングにより異なります。

# JAniCA 日本アニメーター・演出協会

日本アニメーター・演出協会 入会申込書

※入会申込書送付先  
 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南 2-14-4 阿佐ヶ谷 WAOビル 3階 日本アニメーター・演出協会

※既に電子メール等で入会申し込みをした方は、署名・捺印のみで結構です。

記入日	年 月 日
会員種別	<input type="checkbox"/> 有料正会員(会費¥2,000) <input type="checkbox"/> 無料正会員 <input type="checkbox"/> 業界会員(会費¥2,000) <input type="checkbox"/> 準会員(会費¥3,000)
職種	<input type="checkbox"/> 作画 <input type="checkbox"/> 演出 <input type="checkbox"/> 作画と演出 <input type="checkbox"/> その他(具体的にお書きください)
本名	フリガナ 印
筆名・ペンネーム	フリガナ 〒 所属
住所	〒
電話番号	FAX番号
メールアドレス(携帯メール可)	http://
経験年数	※アニメ業界での経験年数 <input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 3年以内 <input type="checkbox"/> 5年以内 <input type="checkbox"/> 10年以内 <input type="checkbox"/> 10年以上
主な会員一覧への掲載	<input type="checkbox"/> 掲載する <input type="checkbox"/> 掲載しない ※経験年数が5年以上の方のみ選択してください。
ホームページ	http://
担当作品名	※制作会社、作画スタジオ、個人グループ等、親類は問いません。また社員、出来高、机を借りていただけ等、形態も問いません。いつでも。
いままでに所属した会社名	※何人でも。
いつしよに仕事をすることがあるJAniCA会員がいらっしゃいますか。	<input type="checkbox"/> 文美国保 <input type="checkbox"/> 東京芸能人国保 <input type="checkbox"/> 加入を希望しない

※個人情報の管理について  
 入会申し込み書の情報は、「日本アニメーター・演出協会」が適正な管理を行うとともに、個人情報の保護に努めます。